



三原市長
五藤 康之

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また平素より市政にお寄せいただいておりますお力添えに対し、心からお礼を申し上げます。

三原市も合併し3年目を迎えました。昨年度は、三原市長期総合計画を基に、全市的なまちづくり、新生三原市の基礎づくりに重点をおきながら、子どもの安全、子育て支援、防犯・防災、事業の継続性などに意を注いで参りました。

本年も引き続き、一体感の醸成に努め、誰もが健康で安心・安全に暮らせる活力ある地域社会の構築に向けて、柔軟な発想、創意工夫を持って取り組んで参ります。

本年10月には、市民待望の芸術文化センターが開館いたします。多くの皆様にご活用いただく中で、地域文化の振興が大いに図られますよう期待しております。

備北地域と広島空港を結ぶ広島中央フライトロード、市の南北軸の幹線である三原東城線・恵下谷バイパスの着実な推進や、三原バイパス時広ランプまでの利用開始、糸崎港線の国道2号との接続などにより、交通・観光基盤の整備を図ります。農業生産基盤の整備や、本郷駅前整備事業・東本通土地区画整理事業、下水道利用区域の拡大など、生活環境の整備もより推進いたします。これからも市民のニーズを的確に捉え、知恵と工夫と市民参加を合言葉に、個性豊かな活力あるまちづくりに向け、まい進してゆく所存でございますので、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

年頭にあたり、市民の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

新年のごあいさつ



三原市議会議長
守岡辰巳

新年明けましておめでとございます。平成19年の初春を迎え皆様に心からお慶びを申し上げます。

現在、国の景気は高度経済成長期にも匹敵する長さで報じられており、景気が堅調であることは前途に明るい光が見え大変に喜ばしい限りであります。

このような状況がこれからも長く続き、財政の健全化が図られるとともに、本市の「活力ある産業のまちづくり」が、一步一步着実に実行されることを願っています。

さて、合併して3年目になりますが、旧三町の皆様にも「わがまち三原」といった親しみの気持ちが根付いてきたように感じております。さらに心理的一体感の醸成を進めるためには、「人・物・情報」の円滑な交流を促す交通の利便や、光ケーブル網の整備により周辺地域との情報伝達較差の解消などと、イベント・祭りをいかにした地域文化の交流を図ることが大切であります。

本年は、市街地の交通渋滞解消が期待される三原バイパス時広ランプ(糸崎町)までの利用開始、糸崎の港回り線の開通などや、木原道路、三原東城線・恵下谷バイパス、広島中央フライトロードなどの事業が着実に進ちよくしており、10月には待望の芸術文化センターが完成予定であります。

これからも三原市議会は皆様と一緒に、本市の特性である交通の拠点性、豊かな自然環境、多様な歴史文化資源などをいかし、一人ひとりが輝き、幸せを実感できるまちづくりにまい進してまいります。